

日本での交換留学

ストラスブール大学
アマンディーヌ・ケレン

日本に来てから早くも一年が過ぎました。この一年間で日本語能力は確実に向上しましたが、まだまだ満足できるレベルではありません。そこで今学期は、自分の限界に挑戦するため、かなり難しい授業をいくつか選択しました。最初の授業では、先生の話すスピードについていくのに必死でしたが、日を追うごとに少しずつ耳が慣れてきました。課題の量は前学期よりも明らかに増え、毎日の学習は大変ですが、着実に成長している実感があります。

学業以外の面でも、多くの変化がありました。最も大きな変化は、新しい部屋への引っ越しです。以前住んでいた寮では狭いキッチンで料理する気が起きず、ほぼ毎日外食していましたが、新居のキッチンは広々としていて、自炊を楽しむようになりました。



留学生活で最も苦勞しているのは、将来の計画を立てることです。日本での就職を視野に入れつつも、まだ具体的なビジョンが描けず不安を感じていま

す。そこで、ワークショップやインターンシッププログラム、留学生向けの就職セミナーなどに積極的に参加する予定です。また、現在の大学院での研究をさらに深めるため、研究生としての進学も検討しています。

研究面では、西坂先生の授業で発表を行う機会がありました。日本語での長時間のプレゼンテーションは初めての経験で、とても緊張していました。結局、先生や先輩からいただいたフィードバックは、今後の研究の方向性を考える上で非常に貴重なものとなりました。

日本文化を体験する機会も多くあります。最近参加した着物教室は、日本の伝統美を肌で感じる素晴らしい経験でした。着付けの複雑な手順に戸惑いながらも、一時間以上かけてようやく着ることができた時の達成感は忘れられません。友人と一緒に撮った写真を見るたびに、日本に留学してきて本当に良かったと思います。

忙しい日々の中でも、時には息抜きが必要です。江ノ島への日帰り旅行に出かけました。青い空と海、新鮮な海産物、そして江島神社での参拝など、都会の喧騒を離れてリフレッシュする素晴らしい機会となりました。



この一年を振り返ると、困難もありましたが、それ以上に多くの学びと成長がありました。日本語能力の向上はもちろん、自立心や異文化理解力も深まったと感じています。留學生活も残り1年となりましたが、この貴重な時間を最大限に活用し、さらなる成長を遂げたいと思います。日本

での経験を通じて、グローバルな視点を持った人間になれることを願っています。これからも様々な挑戦が待っていますが、一つ一つ乗り越えていく勇気と決意を持って、残りの留学生活を送りたいと思います。

最後に、お世話になった人にお礼の言葉を書きます。西坂先生、毎月振り返りシートを読んでもらってありがとうございました。国際課大野さん、色々な手続きをしてくださってありがとうございました。チューターのひまりさん、留学生活を支えてくれてありがとうございました。取った授業の先生の方、いつも面白い授業をしてくださってありがとうございました。先生たちの授業はとても勉強になりました。